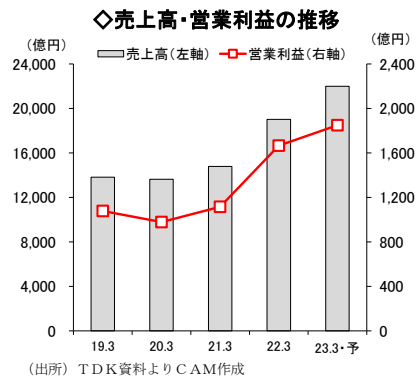


# 企業ニュース TDK

(東証プライム : 6762) <https://www.tdk.com/ja/ir/index.html> 作成者:村上大志

## 磁性技術で世界をリードする総合電子部品メーカー

1935年、世界初の磁性材料「フェライト」の事業化を目的に設立。磁性技術を活用した磁気テープや積層チップインダクタ(コイル)、ナノレベルの薄膜プロセス技術を応用した薄膜磁気ヘッドなどを開発し事業を拡大してきた。主な事業はMLCC(積層セラミックコンデンサ)やインダクティブデバイスなどの受動部品、温度・圧力センサや磁気センサなどのセンサ応用製品、HDD用ヘッドなどの磁気応用製品、二次電池などのエネルギー応用製品の4つ。22.3期のセグメント別売上高構成比は受動部品26%、センサ応用製品7%、磁気応用製品13%、エネルギー応用製品51%、その他3%。中期経営計画では、24.3期の売上高2兆円、営業利益率12%以上を目指す。



## 電装化の進展で自動車向けの電子部品需要が拡大

22.3期の連結業績は売上高が1兆9,021億円、前期比29%増、営業利益が1,667億円、同49%増。全セグメントで売上が拡大し、過去最高の売上高、営業利益\*を達成。セグメント別では受動部品が大幅な増益となり業績をけん引、自動車向けでMLCCやインダクティブデバイスの販売が拡大した。赤字だったセンサ応用製品は、増収効果や製品構成の好転で黒字化を達成。エネルギー応用製品は電動二輪車や家庭用蓄電システム向けパワーセル製品の販売が拡大したが、先行投資や材料価格高騰の影響で減益となった。

\*営業利益は17.3期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

23.3期の会社計画は売上高が2兆2,000億円、前期比16%増、営業利益が1,850億円、同11%増。注力している自動車向けでは、EV化やADAS(先進運転支援システム)といった電装化の進展で、受動部品やセンサなどの販売が拡大しよう。主力のエネルギー応用製品では引き続きパワーセル製品の販売拡大が見込まれる。また、車載電池トップのCATL(中国)と提携、技術・知財の相互補完により、急拡大が予想される中型電池市場で一気にシェア拡大を図る方針。

### [株価動向・投資判断]

自動車向けを中心に電子部品の搭載点数は増加傾向が続いており、持続的な成長が見込まれる。中型電池事業の成長にも期待。

<6762 TDK 業績:米国基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	円	円
21.3	1,479,008( 9)	111,535( 14)	121,904( 27)	79,340( 37)	209.4	180.00
22.3	1,902,124( 29)	166,665( 49)	234,185( 92)	183,632( 131)	484.5	145.00
23.3 予	2,200,000( 16)	185,000( 11)	190,000( 10)	145,000( 10)	382.6	106.00

(注1)21年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施。21.3期の1株利益は当該株式分割考慮後の数値

(注2)22.3期の1株配当は分割前の第2四半期末100円と分割後の期末45円の単純合計。23.3期からIFRS適用、伸び率は22.3期のIFRS実績値から算定



[主要株価指標] (売買単位:100株)

株価(2022/5/27)	4,315 円
年初来高値(高値日)	4,780 円(22/2/16)
同 安値(安値日)	3,620 円(22/3/11)
予想 P E R(23.3 予)	11.3 倍
1株株主資本(PBR算出用)	3,553.0 円
P B R	1.21 倍
予想配当利回り	2.46 %
(1株当たり配当金年106.00円)	
R O E(22.3)	15.6 %
発行済み株式数	38,877 万株